

PRESS RELEASE



2026年2月9日
塩野義製薬株式会社

ウイルス性疣贅治療剤「ワイキヤンス®外用液 0.71%」（適応症：伝染性軟属腫）の 日本における新発売に関する鳥居薬品の発表について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役会長兼社長 CEO：手代木 功）は、SHIONOGI グループの鳥居薬品株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：近藤 紳雅）が、ウイルス性疣贅（ゆうぜい）治療剤「ワイキヤンス®外用液 0.71%」（一般名：カンタリジン）の新発売に関する発表をしたことをお知らせいたします。

以下が、鳥居薬品株式会社による発表内容です。

鳥居薬品株式会社（以下「当社」）は、2025年9月19日に伝染性軟属腫を適応症として日本国内における製造販売承認を取得し、2025年11月12日に薬価基準に収載されました、ウイルス性疣贅治療剤「ワイキヤンス®外用液 0.71%」（一般名：カンタリジン）について、本日より販売を開始しましたのでお知らせいたします。

ワイキヤンス®外用液 0.71%は、カンタリジンを有効成分とするウイルス性疣贅治療剤（外用液剤）であり、塗布された部位において、中性セリンプロテアーゼの活性化を介して、表皮のデスマソームを脆弱化し、表皮構造を破壊することで、塗布部位に水疱を形成します。水疱の形成により病巣皮膚が剥がれ落ち、その結果、ウイルス感染組織が除去されることで伝染性軟属腫への治療効果が期待されます。国内で実施した2歳以上の伝染性軟属腫患者を対象とした第Ⅲ相臨床試験においても、有効性の主要評価項目について、プラセボに対するワイキヤンス®外用液 0.71%の優越性が確認され、安全性及び忍容性に特に問題は認められませんでした。

当社は、ワイキヤンス®外用液 0.71%が伝染性軟属腫に対する新たな治療の選択肢になるものと期待しています。

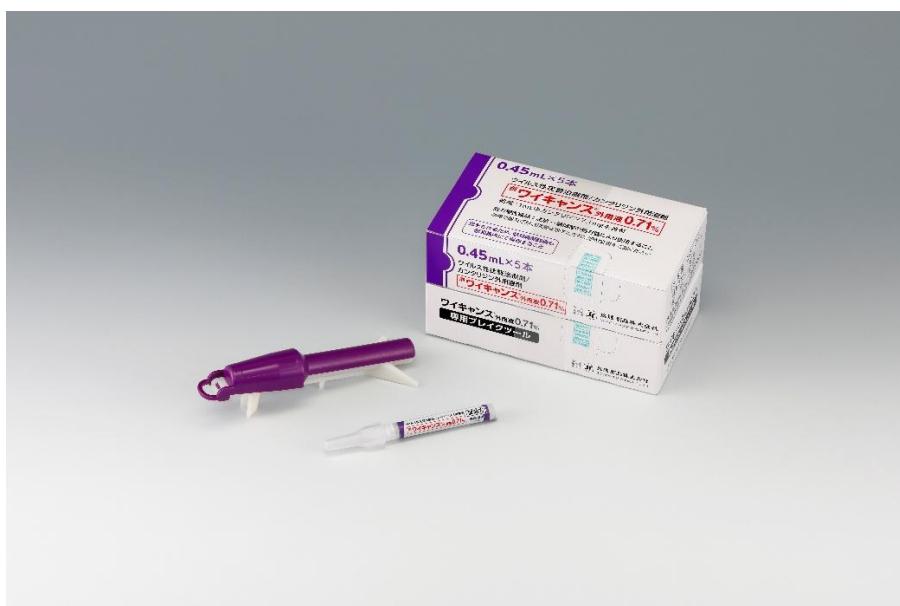
なお、YCANTH®は、Verrica Pharmaceuticals Inc.（以下「Verrica 社」）が米国において2023年7月に成人及び2歳以上的小児患者を対象として伝染性軟属腫の適応症で製造販売承認を取得し、2023年8月より販売しております。

また、当社とVerrica社は、現在、YCANTH®について、成人及び2歳以上的小児の尋常性疣瘡患者を対象とした第Ⅲ相臨床試験を米国及び国内にて実施しています。

＜ワイキヤンス®外用液 0.71%の概要＞

製品名：	ワイキヤンス®外用液 0.71%
一般名：	カンタリジン
効能又は効果：	伝染性軟属腫
用法及び用量：	通常、成人及び2歳以上的小児に、3週間に1回、患部に適量を塗布する。 塗布16～24時間後に、石鹼を用いて水で洗い流す。
包装：	ガラスアンプルアプリケータ：0.45mL×5本（ブレイクツール1本添付）
薬価：	14,995.60円（0.71%0.45mL1管）
製造販売承認日：	2025年9月19日
薬価収載基準日：	2025年11月12日
発売日：	2026年2月9日
製造販売元：	鳥居薬品株式会社
輸入元：	Verrica Pharmaceuticals Inc.

製品写真



<伝染性軟属腫について>

伝染性軟属腫は、ポックスウイルス科の伝染性軟属腫ウイルスによって引き起こされる感染性の高い皮膚感染症です。一般に「水いぼ」と呼ばれる小児に多く生じる疾患で、体幹や四肢に直径 1~4mm 程度の光沢のある丘疹が多数みられます。

<尋常性疣瘡について>

尋常性疣瘡は、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染によって生じる疾患であり、一般に「いぼ」と呼ばれています。主に手足に直径数 mm~1cm 程度の角化した隆起性病変がみられます。

以 上

[お問合せ先]

塩野義製薬ウェブサイトお問い合わせフォーム：[お問い合わせ | 塩野義製薬 \(shionogi.com\)](http://www.shionogi.com)